



技術で困ったときの頼みの綱

株式会社 信栄製作所
代表取締役 立野 栄司

弊社は湧水町出身の父が昭和34年に東京都大田区で創業した会社です。船舶・自動車・航空機部品等の機械加工に使用される特殊な切削工具を製造し販売しております。

昭和45年に霧島市国分に国分工場を新設し、昭和58年には湧水町に吉松工場を建設しました。

その後、平成10年に霧島市溝辺町に用地を取得し、旧2工場を移転統合し、鹿児島工場として現在に至っております。

平成25年にはタイ王国に100%出資の現地法人を設立し、製造の一部を担い、海外進出を果たしました。

弊社は戦後の復興期から高度経済成長、オイルショック、円高不況、バブル経済と崩壊、金融破綻、ITバブルと不況、リーマンショック、経済のグローバル化への対応、直近のコロナ禍での対応など、これまでにさまざまな時代の変化の波を潜り抜けてきました。

そのような時代の変化の中で、特にものづくりにおいては、技術の進歩と共に、新たな素材の加工への対応という難題が次から次へと発生してまいりました。

そしてそれらの計測・分析・検証方法など、自社の設備や技術では全く手に負えないような案件が多く、鹿児島県工業技術センターに幾度となく相談させていただきました。

そのなかで、ワーク素材の組織の分析、工具素材の強度試験、熱処理後の組織分析等、依頼した案件にはどのような事でも、それぞれ専門のスタッフの方が親身になって相談に乗っていただきました。

そのおかげで、お客様には十分に納得のいく報告や説明をすることができ、信頼を得ることにも成功しました。

さらに、異種素材の接合と接合装置の開発においては、工業技術センターと共同で特許を取得させていただく等、今後の弊社の新たな可能性の手助けをしていただきました。

現在、弊社はコロナ禍の影響を少なからず受けておりますが、ポスト・コロナを見据えて次なる成長に向けて、準備も進めております。

これからも、“技術で困ったときの頼みの綱”として、鹿児島県工業技術センターを活用させていただきます。引き続き、ご指導のほどよろしく申し上げます。



鹿児島空港から4km南へ位置する
信栄製作所 鹿児島工場
(敷地 約15,000㎡ : 建物 約4,300㎡)



製品の写真